

成功企業に共通する道具はコーヒーポット!」
〜 ナレッジ・マネジメントに必要な要素 〜

最近、タバコをすえるところが本当に少なくなりました。
喫煙者の私としては、肩身が狭い気がしております。
そうは言っても、新幹線では禁煙車に乗る僕ちゃんですが……。

さて、経営者の立場としては、タバコを吸う時間は、「業務の無駄な時間」と考えられます。
確かに1本3分、一日10本として30分の無駄な時間。
そして、その場所での仲間との無駄な会話の時間もプラスされることは事実。
しかし、視点を変えると効用はないのか?
気軽に出来る情報交換の場所と時間。
アメリカ流の合理主義では、減給もののレットルが張られるのが常識ですがね。

日本的経営の良いところは、顔が見えるコミュニケーションの道具でもあったのでは?
そこでの気軽な情報交換がナレッジ・マネジメントの集積に役立っていたのでは?
そんな気がしています。

今回のテーマ「成功企業に共通する道具はコーヒーポット」
人が集まる所は、喫煙場所以外にどこがあるのか?
コーヒーが飲める場所。食堂など。
気楽に、ちょっとすぐ、相談、情報交換できる場所を経営者が「戦略的に創る」かどうか?
人は「場」があることにより集うのです。
そんな「場」を作為的に作っているのが、成功企業に共通する仕掛けです。
映画「踊る大捜査線」でも、会議室よりコーヒーが飲める場所が重要な意味があります。

智恵は会議室では、出ない! 智恵はコーヒーポットから出るんだ!」なんてね。

噂話は給湯室で! 社内の情報は女子社員に聞け!」

「気軽に出来る情報交換の場所」を作れるかどうか、これからの企業経営にとって必要。
そんな工夫を考えた経営者が勝つのですね。

<コメント>

情報交換の場所・・成功企業の条件はコーヒーポット

気軽に、すぐに、ちょっと人が集える場。

いかに戦略的に作るかどうか。

コーヒースペース 大部屋。フリースペース 鏡張りの会議室。食堂の活用。

机の上に本棚などを置かない。すべてが見渡せるようにする

「ちょっとミーティング」の場所。

戦略的にいかに創り出すのか? 経営者・マネジャーの智恵に将来が掛かってます。